

2024年度全道少年（U-12）8人制サッカー大会 兼
第21回 JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会IN北海道 苫小牧地区予選

大会要項（案）

- 1 主 旨 少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに8人制サッカーの底辺拡大に努める。
- 2 名 称 2024年度全道少年（U-12）8人制サッカー大会兼第21回
JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会IN北海道 苫小牧地区予選
- 3 主 催 苫小牧地区サッカー協会
- 4 主 管 苫小牧地区サッカー協会 第4種委員会
- 5 期 日 2023年10月14日（土）、15日（日）
- 6 会 場 緑ヶ丘公園サッカー場
- 7 参加資格 ①参加チームは2023年度（公財）日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
②「参加選手」は上記「加盟チーム」に所属する選手で、（公財）日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
③第4種年代の女子選手については（「クラブ申請」を承認された）同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。ただし前項①②は適用される。
④引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上が本協会公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること。ベンチには複数の指導者が入ることとする。
⑤参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
⑥「参加チーム」は必ず『傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険）等』に加入していること。
⑦大会時に5年生以下の選手が参加可能となる。
- 8 参加チーム数 8チーム
- 9 競技規則 （公財）日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
但し、詳細に関しては本大会用として競技方法に定める。
- 10 大会形式 (1)4チーム×2によるリーグ戦を行い順位を決定する
(2)各リーグ同順位チームにて順位決定トーナメントを行う。
- 11 競技方法 (1)プレーの時間：36分(12分-12分-5分-12分 3ピリオド)
(2)インターバル(ピリオド間)：第1ピリオドと第2ピリオド間は選手交代に要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は5分とする。
(3)競技のフィールド
・フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。
・ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
・その他のペナルティエリア等の長狭に関しては8人制サッカールールに準ずる。
(4)試合球 公認球（少年用4号球）を使用する。

(5) エンドの決定

・第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し約半分が経過したタイミングでサイドをチェンジする。タイミングは審判に委ねる。再開方法はキックオフとする。

(6) 試合の勝者を決定する方法

リーグ戦での順位決定は、勝点（勝：3、分：1、負：0）、得失点差、総得点、当該チームの対戦結果の順で決定する。これらによっても順位が決しない場合には、予選終了後にいわゆるPK方式（3人）にて順位を決定する。

・延長戦に入る前のインターバル：5分

・PK方式に入る前のインターバル：1分

(7) 競技者の数および交代

・1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者の内1人はゴールキーパーとする。

・原則、選手全員が1ピリオドを通じて出場する。

・第1ピリオド出場予定の8人、第2ピリオド出場予定の8人と、その他交代要員を予め明確にする。

・交代要員含め同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオド全てに出場することはできない。事故・けが・コロナウイルス等による参加不可等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が11人以下になったときに限り、1試合で3つのピリオドに出場することを認める。（延長戦はピリオドの数に含まない）

① 第1ピリオド

・予め決められた、第1ピリオド出場予定の選手が出場する。

・試合中の、事故・ケガで交代する場合は交代要員が出場する。

交代要員：提出したメンバー表、出場印がついていない選手

・交代選手全員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第2ピリオド出場予定の選手が出場できる。

・交代して退いた選手は、再び出場できない。（＝自由な交代ではない）

② 第2ピリオド

・予め決められた、第2ピリオド出場予定の選手が出場する。

・試合中の、事故・ケガで交代する場合は交代要員が出場する。第1ピリオドで交代して出場していても出場はできる。

・交代選手全員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第1ピリオド出場予定の選手が出場できる。

・交代して退いた選手は、再び出場できない。（＝自由な交代ではない）

③ 第3ピリオド

・第1・第2の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員含め誰でも出場できる。

・何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。（＝自由な交代）

④ 延長戦

・交代要員含め誰でも出場できる。

・何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。（＝自由な交代）

(8) 交代の手続き

・交代して退く選手は、交代ゾーンからフィールドの外にでる。

・交代して出場する選手は、退く選手が外に出た後、交代ゾーンからフィールドに入る。

・交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレーに関らず行うことができる。ただし、交代で退く選手が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからでもフィールドを離れてもよい。

・交代は審判の承認を得る必要はない。

・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

・交代して退くキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。

(9) テクニカルエリア：設置しない

(10)ベンチに入ることができる人数

最大選手12名・指導者4名

原則2名以上の指導者がベンチに入ることを義務づける。

(11)負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は2名以内とする。

(12)審判員 例年4人制審判で行っていたが今年度は2人制とする。

(13)コーナーキック：ボールがインプレーになるまで相手競技者は、コーナーアークから7m以上離れる。

(14)グリーンカードの導入。

(15)常に8人で試合を行うことを最優先とする。そのため、ゲーム中および大会 期間中にけがや病気で人数が足りない状況が生まれた場合のみ、1人の選手が3ピリオド全てに出場しないことで対応をしていく。(必ず大会本部に確認をし、承認を受けることとする。)

(16)最低登録人数は16名とする。

10 懲罰

①本大会は、本協会「懲罰規定」に因り、大会規律委員会を設ける。

②本大会の規律委員長は苫小牧地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。

③本大会諸規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する

④警告・退場：通常の競技に準ずる。

⑤退場：当該チームは後退要員の中から競技者を補充し、常に8人で競技する。

⑥退席処分：ベンチ（監督・コーチ・役員他）が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度、注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退場処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。

⑦本大会期間中において警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。

⑧・本大会において退場を命じられた競技者等、自動的に本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については規律委員会に置いて決定する。

・競技者等が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは後退要員の中から競技者を補充することができる。

・主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

⑨本大会の予選は懲罰規定上の同一当該競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。

11 帯同審判

(1) 出場チームは日本サッカー協会公認審判員を原則2人帯同させること。

(2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。ベンチ入り指導者が審判員を兼ねる場合は審判を優先しなければならない。

12 選手証

(1) 各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真貼り付けのないものは無効とする。(選手証とは、KICKOFFから出力した、選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。)

13 ユニフォーム

(1) 試合に関しては、大会参加申し込みの際に登録している正・副2色のユニフォームを用意すること。

(2) (公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づいたユニフォームを使用しなくてはならない。

・選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。

・ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。

14 開会式 開会式は行わない。

15 閉会式 閉会式は行わない。

16 その他

- ①選手資格に関し、その他不都合な行為があった場合そのチームの出場を停止する。
- ②自チームの試合の1試合前までにユニフォームチェックを行う事。
- ③選手の保護者・関係者のマナー遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内でのすべての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるごみ）については、チームの責任とする。
- ④帯同審判で大会を運営するので、各チームは審判割り当てを遵守すること。
- ⑤荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には大会委員長・審判長・事業委員会において競技の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- ⑥苫小牧地区の代表枠は チーム とし、代表チームには北海道大会への参加を義務づける。開催地 未定
- ⑦新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、(公財)北海道サッカー協会策定のガイドラインに沿って大会運営を行っていく。
- ⑧本協議会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に各チームの感染対策担当者ミーティングを実施する。
- ⑨大会参加チームは、新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で、関係者から感染者がでた場合は、本大会運営委員会において協議の上対応する。